

2025 年度

自 2025 年 4 月 1 日

至 2026 年 3 月 31 日

事業報告書

公益財団法人 木村看護教育振興財団

2025 年度 事業報告書

1 海外看護研修助成－長期海外看護研修－（公募事業）

看護師・助産師・保健師の資格を有する者であって一定の英語力を有するものを対象として、2 週間の研修に要する研修費、宿泊費、往復航空運賃等を全額助成する。

新型コロナウイルスの世界的な感染拡大により 2019 年度の実施を最後に延期されてきたが、2023 年度より再開し、2025 年度においても以下のとおり実施した。

(1) 研修先

アメリカ合衆国ミネソタ州ロチェスター メイヨークリニック

(2) 研修者

9 名を派遣した。

(3) 研修期間

2025 年 9 月 13 日（土）～9 月 28 日（日）

2 看護研究助成（公募事業）

医療機関等で実際に看護等の業務に携わっている看護師・助産師・保健師の資格を有する者またはその者を代表研究者とするグループを対象として、1 件当たり 100 万円を限度として助成する。

2025 年度は、研究 9 件に対し助成した。

3 専門看護師奨学金助成（公募事業）

看護系大学大学院専門看護師教育課程の最終年次進級予定者に対して、1 件当たり年額 70 万円の助成を行う。2022 年度までは、2 年コースの教育課程履修者に助成対象者を限ってきたが、2023 年度以降は、3 年以上の教育課程履修者にも助成対象を拡大している。2025 年度から助成金をそれまでの 60 万円から 10 万円増額した。

2025 年度は、13 名に対して助成を行った。

4 看護に関する講演会

本講演会は、2022 年度以降、ウェブ形式により実施している。この企画・立案には、これまで本財団の助成を受け、現在看護の第一線で活躍されている方々にもアドバイザリーボードのメンバーとして参画いただいた。

講演会の概要は、以下のとおりである。

(1) 日 時 オンデマンド配信 2025 年 10 月 23 日（木）～11 月 24 日（月）

(2) テーマ 「グッドプラクティスから臨床倫理をとらえ直す」

(3) 内 容

① 財団紹介 本財団の設立の趣旨と事業の概要

② 講演 1 「グッドプラクティスから臨床倫理をとらえ直す ー組織的視点からー」

講師 板井 孝壱郎氏（宮崎大学医学部医学科 社会医学講座 生命・医療倫理学分野
教授

宮崎大学医学部附属病院 病院長補佐

同 中央診療部門 臨床倫理部 部長）

③ 講演 2 「グッドプラクティスから臨床倫理をとらえ直す

ー看護管理者、実践家の視点からー」

講師 岡本 充子氏（社会医療法人近森会 理事・統括看護部長
老人看護専門看護師）

④ 講演 3 「グッドプラクティスから臨床倫理をとらえ直す ー管理者の視点からー」

講師 小藤 幹恵氏（前 公益社団法人石川県看護協会 会長
元 国立大学法人金沢大学附属病院 副病院長・看護部長）

⑤ 座談会 演題「グッドプラクティスから臨床倫理をとらえ直す」

演者 板井 孝壱郎氏（座長）、岡本 充子氏、小藤 幹恵氏

⑥ メイヨークリニック講演

演題「Mayo Clinic Clinical Ethics Consultation Service」

（メイヨークリニックにおける臨床倫理相談サービス）

講師 Ms. Ellen J. Case, M.S.W., Clinical Ethics Program Manager

Ms. Kari L. Cambern, M.S.N., M.H.A., R.N., N.E.A.-B.C., Nurse
Administrator

(4) 視聴者数 1,373 名

5 刊行物の発行・配布

事業の概況や財務状況等を記載した「年次報告書」を 2025 年 10 月に発刊した。従前毎年発行

してきた事業の成果に関する刊行物「看護研究集録」、「海外看護研修レポート」及び「講演会の記録」は、本報告書に統合することで廃刊とした。

1,000部を刊行し、全国の看護系大学及び主要な病院に配布した。

6 2026年度の助成事業における公募及び応募に関する対応

2026年度の助成事業について、2025年11月10日(月)から2026年1月20日(火)までを受付期間として公募を行うとともに、応募に関する問い合わせに対応した。

公募実施に関するお知らせは、本財団ホームページに掲示するとともに、看護関係団体のホームページや看護専門誌の情報提供欄に掲載いただいた。また前年に引き続き、告知効果の期待できる「協会ニュース」(日本看護協会発行)に広告を出稿した。

2025年11月中旬に全国の約1,500の主要病院や大学等にカラーポスター(A4判)による募集要綱を送付するとともに、これまで本財団の助成を受けた方々およびウェブ講演会申込者に案内メール(約5,600件)を一斉送信した。

7 その他

(1) 海外看護研修者に対するオリエンテーション

2025年7月2日(水)、都内会議室で研修者9名に対するオリエンテーションを実施した。

(2) 看護研究成果報告会

2025年8月22日(金)、都内会議室で理事、選考委員らが出席のもと、2023年度の看護研究助成対象者9名が研究の成果を報告した後、質疑応答を行った。

(3) メイヨーナース来日セミナー

2025年11月13日(木)、本財団主催による「メイヨーナース来日セミナー」を都内で実施した。メイヨークリニックの看護師2名が「看護師と医師の協働」及び「メイヨークリニックにおける多様性と包括性」をテーマに同クリニックにおける取り組みについて講演した。

(4) 海外看護研修報告会

2025年12月19日(金)、都内会議室で理事、評議員らが出席のもと、研修者9名が研修の成果を報告した後、質疑応答を行った。

以上